

## 2022 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	にんていとくていひえいりかつどうほうじん ぼけっとさぽーと	
団体名	認定特定非営利活動法人ポケットサポート	
代表者名	代表理事 三好 祐也	
連絡先	住所	岡山市北区奥田本町 2 2 - 2
	TEL	0 8 6 - 2 8 9 - 8 5 2 8
	E-mail	<a href="mailto:info@pokesapo.com">info@pokesapo.com</a>
	URL	<a href="https://www.pokesapo.com/">https://www.pokesapo.com/</a>
設立年（西暦）	2015 年	
助成活動名	多機関多職種連携による病気療養児ソーシャルワーク支援事業	
助成額	1,500,000 円	
活動内容	目的	<p>2023 年現在も病棟に訪問しての活動は休止しており、オンライン支援活動では距離を気にせず活動時間中に対象の子どもがいれば支援を届けることができるが、訪問活動でこれまで繋がるできていた当事者家族や、悩みや不安を抱える医療関係者や学校関係者と偶発的に出会う機会は減少している。これは当事者家族にとって、ピアサポーターや関係機関とつながることが難しい状況だと言い換えることができる。ある当事者家族からは「どこに相談すればよいか教えてほしい。」「自分で解決するしかない諦めていた」という声があり、ある地域のスクールソーシャルワーカーからは「初めての事例で病院や保健所と、どう連携したらいいかわからない」という相談が入っている。</p> <p>潜在的な悩みや不安を抱えている病気療養児やその家族が、必要な社会的資源や情報を的確に受け取ることができ、心理的負担の軽減などを進めていくためには、ICT を活用したアウトリーチを拡大すると同時に、個別性の高い病気療養児の相談事例に柔軟かつ迅速に多機関多職種で連携していく必要性がある。</p>
	内容	<p>(1) Google 検索キーワード連動型広告を活用したアウトリーチ</p> <p>(2) YouTube 動画広告を活用したアウトリーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県内で「長期療養 子ども 勉強」等で Google 検索した場合に 1 クリック単価で広告課金となる仕組みを利用してアウトリーチ</li> <li>・個別相談につながる検索キーワードや検索数の多いキーワードリストを収集</li> </ul> <p>(3) 岡山県内における多職種連携ネットワーク講演会イベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日時：8 月 7 日（日）13～16 時</li> <li>・感染症対策のため完全オンラインによる YouTube ライブ配信で開催</li> <li>・【講師】昭和大学 准教授 副島賢和先生</li> <li>・【講師】岡山県教育委員会特別支援教育課 頃末先生</li> <li>・配信会場は岡山国際交流センター 5 階会議室（1）を利用</li> <li>・YouTube ライブ配信で全国に発信することができ 337 名が事前参加申込</li> </ul> <p>(4) 岡山県内における多職種が連携したソーシャルワーク支援事例の蓄積</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の保健所や教育委員会、医療機関と連携した支援事例の共有ができた</li> <li>・セールスフォースを活用した個別相談事例共有システムを確立できた</li> </ul> <p>【予算変更】多職種連携事例集を増刷して県内の医療機関に郵送した</p>

<p>成果</p>	<p>WEB を活用したアウトリーチにより潜在的に悩みや不安を抱える病気療養児の保護者等に積極的かつピンポイントで訴求し、当団体の特設 WEB ページ（LP：ランディングページ）に誘導を行った。オンラインでのアウトリーチを強化することにより県内外からの保護者や支援者からの相談が増加した。</p> <p>LPには団体概要や過去の相談事例、保健所や教育委員会などの連携先、相談者からの喜びの声などを掲載すると同時に、気軽に相談できるようメールフォームや相談ダイアルを分かりやすく掲載した。</p> <p>また、岡山県内の学校現場におけるアンケート調査結果や、慢性疾病を抱える子どものサポートブックなど、PDF ダウンロード申込システムを設置してメールアドレスを収集し、継続的にメールマガジン等でイベント参加や機関等とつながる仕組みづくりを行うことで、切れ目のない継続な支援へとつなげた。</p> <p>2021 年度よりポケットサポートが導入しているセールスフォースによる相談支援事例共有システムにより、「いつ、誰が、誰に、どんな対応をしたか」などの記録を蓄積すると同時に、多機関と情報共有しながら病気療養児の支援を継続することができる体制づくりが確立しつつある。</p> <p>2022 年度が多職種連携や情報発信が評価され、岡山県小児慢性疾病児童等自立支援事業が県議会で予算承認され、2023 年度より制度化されることとなった。</p>
<p>今後の課題と対応策</p>	<p>今後も WEB アウトリーチによる個別相談や岡山県小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の開始により、オンラインでのつながりから各地域の社会的資源を的確につなぐことで、子どもたち一人ひとりのニーズや支援課題に寄り添ったソーシャルワーク支援を、多職種多機関と連携して進めていきたい。</p> <p>2023 年度からは感染症対策を徹底しながら少人数型の交流会や相談会も各地域に出張して開催する取り組みを復活していきたいと考えている。また、寄付者への活動報告や、行政提案に向けたエビデンスとしても事例数や課題等を共有していく。</p> <p>アウトリーチ拡大とともに相談件数が増えてくることから闘病経験者がピアサポート相談対応や、オンラインで学習支援等を担当する職員を増員するためにも、マンスリーサポーターを増やすためのファンドレイジングやプロモーション動画制作と動画広告運用を進めていく。</p>
<p>写真の提出</p>	 <p>The images show various activities and settings related to the organization's work, including educational materials, meetings, and a classroom environment.</p>